

2021年10月28日

資料1-11

# 旅館業法の見直しに係る検討会

一般社団法人 日本発達障害ネットワーク

一般社団法人 日本自閉症協会



# 一般社団法人 日本自閉症協会の概要

1. 設立年月日: 昭和43年自閉症児親の会全国協議会設立 一般社団法人移行平成27年4月1日

2. 活動目的及び主な活動内容:

本協会は、自閉スペクトラム症の人達に対する福祉の増進及び社会参加の促進を図り、広く社会に貢献することを目的とし、下記のような事業を行なっている。保護者を中心として発足した団体ではあるが、当事者、支援者等会員層を拡大しつつ、国内外の関係団体等とも提携・協力を図りながら、長年にわたり活動している。

## 最近の主な活動

- 専門相談、一般相談、家族相談員による相談
- 加盟団体活動助成
- 機関紙「いとご」・機関誌「かがやき」発行・自閉症ガイドブック等の販売
- 世界自閉症啓発デー関連イベントの主催、共催、後援
- 施策への提言と改善推進
- 災害対策の推進 災害時対応要項を作成
- 全国大会
- 保険事業(自閉症児者のための総合保障)

3. 加盟団体数: 51団体(令和3年9月時点)

4. 会員数: 約12,000人(個人・団体計)(令和3年9月末時点)

5. 法人代表: 代表 市川 宏伸

# 自閉スペクトラム症の特性①

○コミュニケーションや社会性に特徴があります。

- 抽象的な言葉、長い説明は通じなくても、絵や写真、文字などを使って、短く、具体的な説明すると、理解できる場合が多いです
- 公共の場でもマイペースで、周囲の人に見られていることをあまり気にしない行動を取ることがありますが、育て方が悪かったとか、意図的に嫌がらせをしているというわけではありません
- 初めての場所で不安になることが多いので、付き添いの家族等が対応しても、大きな声を出したり体を揺すったりする場合がありますが、スケジュールが分かったり、場所に慣れてくると落ち着きます

## 自閉スペクトラム症の特性②

○刺激への過敏が見られる人や逆に鈍感な人もいます

### 過敏な場合

些細な刺激でも日常生活に支障をきたすほどの苦痛を感じることがあります。努力や我慢では解決できない「脳の(刺激の受け取り方)特性」です

- ・(触覚)衣服のタグがチクチクする。雨や風が当たると痛い。  
他人に触られることが苦手。マスクがつけられない
- ・(視覚)蛍光灯の光がまぶしくて吐き気がする
- ・(嗅覚)石鹼、香水等の匂いで気持ち悪くなる

# マスク着用が困難な発達障害児者への対応について

世界自閉症啓発デー x マスク等の着用が困難な状態にある x +

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage\_14297.html

言語切替 日本語 ? 点字ダウンロード サイト閲覧支援ツール起動 (ヘルプ) 文字サイズの変更 標準 大 特大 English site

厚生労働省 Ministry of Health, Labour and Welfare

本文へ お問合わせ窓口 よくある御質問 サイトマップ 国民参加の場

Google カスタム検索 検索

テーマ別に探す 報道・広報 政策について 厚生労働省について 統計情報・白書 所管の法令等 申請・募集・情報公開

ホーム > 政策について > 分野別の政策一覧 > 福祉・介護 > 障害者福祉 > マスク等の着用が困難な状態にある発達障害のある方等への理解について

## マスク等の着用が困難な状態にある発達障害のある方等への理解について

発達障害のある方については、触覚・嗅覚等の感覚過敏(\*1)といった障害特性により、マスク等の着用が困難な状態にある場合があります。

WHOの「COVID-19に関連した地域社会の子どものためのマスク使用に関するアドバイス」(\*2)においては、「発達上の障害や他の障害、またはマスク着用を支障をきたす可能性のある特定の健康状態をもつ子どもに対しては、マスクの使用を強制するべきではない」「フェイスシールドなどのマスク着用に代わる選択肢を与えるべき」としています。

また、WHO「Q&A: COVID-19に関連する子どもとマスク」(\*3)の中の「発達上の障害のある子どもはマスクを着用すべきか?」という項目では、「発達上の障害、その他の障害、またはその他の特定の健康状態のあるあらゆる年齢の子どもにマスクを使用することは必須ではなく、子どもの親、保護者、教育者、医療提供者、またはそのいずれかによってケースバイケースで評価されるべきである。いずれの場合でも、マスクを容認することが困難な重度の認知障害または呼吸障害のある子どもは、マスクを着用する必要はない。」とされています。

発達上の障害に係るマスク着用の困難性には感覚過敏の特性によるものが含まれ、子どものみならず、成人に至っても継続する場合も想定されます。

また、フェイスシールドなどのマスク着用に代わる方法についても、重度の知的障害など障害特性によっては困難な場合があります。

政策について

- ▼ 分野別の政策一覧
  - 健康・医療
  - 子ども・子育て
  - ▼ 福祉・介護
    - ▶ 障害者福祉
    - ▶ 生活保護・福祉一般
    - ▶ 介護・高齢者福祉
    - ▶ 雇用・労働
    - ▶ 年金
    - ▶ 他分野の取り組み

# マスク等の着用が困難な状態にある発達障害のある方等への理解について

## 厚労省HPに掲載

発達障害のある方については、触覚・嗅覚等の感覚過敏(\*1)といった障害特性により、マスク等の着用が困難な状態にある場合があります。

・・・(略)

発達上の障害に係るマスク着用の困難性には感覚過敏の特性によるものが含まれ、子どものみならず、成人に至っても継続する場合も想定されます。

また、フェイスシールドなどのマスク着用に代わる方法についても、重度の知的障害など障害特性によっては困難な場合があります。

こうした障害特性により、マスク等の着用が困難な方に対する国民の皆様のご理解をお願いいたします。

(\*1) 感覚過敏とは、聴覚・視覚・触覚・嗅覚・味覚等について、非常に敏感になっている状態であり、発達障害のある方に多いとされる特性である。その状態や程度は人それぞれであり、感覚過敏により日常生活に大きな支障をきたすことがある。

## 事例：マスク着用できないことで宿泊を一旦断られた。

- ・家族から、ホテルに子どもが自閉症であることを伝えた上で宿泊予約をした時には、問題なく受け付けてもらえた。
- ・予定が近づき、家族から「強い感覚過敏がありマスクがつけられない」ことを伝えたところ、ホテルから「どうしてもマスクは着用してほしい。できないならよく考えるように。」と、キャンセルの要求をされた。

# 事例その後：宿泊対応いただいた

- ・家族が、ホテルのHPフォームから、あらためて問い合わせをしたところ、ホテルからは、謝罪と共に「コロナ渦の中、感染予防対策をしっかりと行い、皆様に楽しんでいただけるように努めますので、是非お越し下さい。お待ち申し上げます。」との返信があった。
- ・結果、無事宿泊でき、宿泊中もトラブルなく過ごせた。

# 私たちが普段行っている準備

## 【宿泊施設との相談】

- ・事前に「自閉症」であることを知らせておく
- ・他のお客さんの迷惑にならないよう、部屋の場所などの配慮を依頼

## 【準備】

- ・本人の特性に合わせて、本人への説明
- ・本人が安定して過ごせるようなグッズ等の準備

キャンプや行事などで長年宿泊を伴うイベントを開催

経験が狭まりがちな自閉症児者にとって、旅行は大切な楽しみ



# 宿泊について望むこと

- （全ての障害に共通）

障害を理由に断られることがないようにしてほしい

- （自閉症など発達障害の特性がある場合）

言葉を話していても会話が苦手、初めての場所が不安で目立つ行動をする、感覚の過敏さのためにマスクの着用に困難さがある・・等の特性を理解しておいてほしい。